

平成28年度青森県公社等経営評価書

(平成27年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)	
6	(公財)青森県フェリー埠頭公社				
所管課名	県土整備部港湾空港課				
決算状況 (単位:千円、%)					
出資	資本金	県出資額	県出資比率		
	20,000	20,000	100.0		
決算	前期一般正味財産増減額	当期一般正味財産増減額	一般正味財産期末残高		
	34,205	▲ 1,400	4,803,484		
資産	資産	負債	正味財産		
	5,458,283	634,799	4,823,484		
財務分析指標					
正味財産比率	経常比率	総資産当期経常増減率	県財政関与率	補助金収入率	【目的適合性】 ◎
88.37	101.21	0.12	0.27	0.00	フェリーによる交通機関は、現在でも公共交通の確保という点で相当の需要があり、存在意義がある。今後も利用者ニーズに対応した取組を進めていくこと。
受託等収入率	管理費比率	人件費比率	流動比率	借入金比率	
0.00	7.18	14.32	364.94	4.72	【計画性】 ◎
経営評価結果				事業計画をベースに、PDCAサイクルを通じて適切・迅速に経営改善が図られる仕組みとなっている。引き続き堅実な経営に取り組むこと。	
評価区分	A:概ね良好			【組織運営の健全性】 ◎	
<p><財務状況> 財務の状況については、棧橋賃貸料の収入時期の変更に伴い一般正味財産増減額が赤字となったものの、経常増減額では、引き続き安定的に黒字を確保していることは評価できる。過去の施設取得等に要する費用について県からの借入があるものの、着実に償還しており、経営上問題がないと認められる。</p> <p><経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、おおむね妥当なものと認められる。</p> <p><留意事項> 八戸港フェリー埠頭の第2バース増設について、平成29年度からの供用開始を目指し整備事業を進めているが、増設後においても引き続き安定した経営が続くよう、県、フェリー埠頭を利用する船社等の関係機関と情報共有を図り、収支への影響等の分析を適切に実施し必要な対策を講じていただきたい。</p> <p>また、多額のコストが見込まれるフェリー埠頭等の施設の維持管理については、策定されている施設維持管理のための計画等に基づき、適切にマネジメントしていただきたい。</p>				【経営の効率性】 ○	
				人的資源の有効活用に努めるとともに、管理費等の削減にも取り組んでいる。同様の取組を継続すること。	
				【財務状況の健全性】 ◎	
				収支は黒字を確保し、持続的・安定的な経営を行われており、特段問題は無い。引き続き経営計画に準じた、堅実な経営を進めること。	